

2011年7月25日

インドネシアで100万本のマングローブ植樹に取りかかる

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市一里山町 取締役社長：網岡 卓二）は、インドネシア ブカシ県の「トヨタ車体グループの森」において、第1回植樹式を開催し、マングローブの苗木約500本を植えました。

当社は、2006年から本社のある愛知県をはじめ、工場や子会社が所在する三重県、鹿児島県で森林整備を推進してきました。海外においては、2006年から5年間、インドネシア スガブミ県の焼畑により森林破壊が著しい約120haの土地に約11万本のマホガニーやアボカドなどの苗木を植え、熱帯雨林再生を目指す活動を推進してきました。

今回の活動は、これまでの経験を生かし、当社現地法人（S/C*1、T-TEC*2）および公益社団法人 日本環境教育フォーラム*3 のサポートを受け、エビ養殖のために作られた人工池などにより破壊が進む、約100haの海岸沿いに、2011年から5ヶ年計画で、これまでの約10倍となる100万本のマングローブの苗木を植える計画です。

第1回植樹式には、当社専務取締役の石黒 明二、当社現地法人のスタッフに加え、ブカシ県副知事をはじめとするインドネシア行政関係者、地元住民や小中高校生など約300名が参加し、植樹を行いました。

当社は、今後もインドネシアにおける植樹活動を継続していくとともに、地域住民に森林の大切さを啓蒙し、地球環境保全に取り組んでいきます。



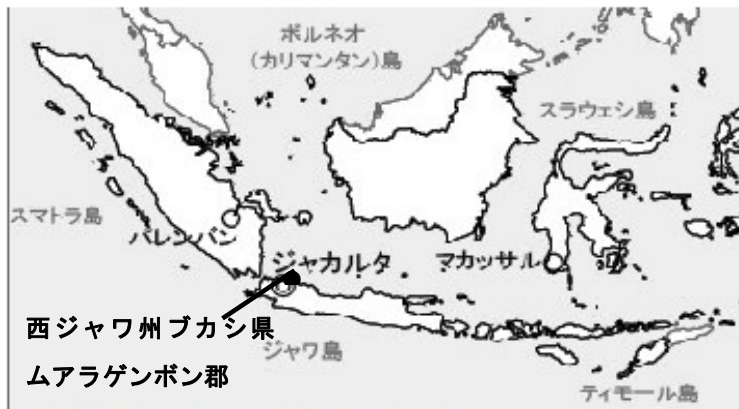
マングローブを植樹する
「トヨタ車体グループの森」



石黒専務(写真右)による記念植樹

【植林活動の概要】

- ・場 所：インドネシア共和国西ジャワ州ブカシ県（地図参照）



- ・期 間：2011年から5年間
- ・植林規模：100ha マングローブ100万本
- ・協 力：現地行政機関

(* 1) スギティークリエーティブス株式会社

所在地：西ジャワ州ブカシ県チビトン郡MM2100工業団地内

生産品目：樹脂部品

(* 2) トヨタオートボデーカイエクストゥルージョン株式会社

所在地：西ジャワ州ブカシ県チビトン郡MM2100工業団地内

生産品目：ゴムおよび樹脂の押し出し成形部品

(* 3) 公益社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)

Japan Environmental Education Forum